

3つのポリシー ガイドラインによる改定

鶴見大学

学部学科	全学ポリシー	文学部	歯学部																														
ディプロマ・ポリシー	<p>【本学はどのような人材を育成し、学位を授与するのか。】</p> <p>本学は、仏教、特に禅の精神に基づく円満な人格と、専門的な知識・技能に基づく高度な実践力、即ち優しさと力を併せ持つ人材を育成します。</p> <p>それは、世界の中の自己を正しく認識し、感謝と慈愛の心を持って、社会の発展と福祉の増進に貢献する人です。</p> <p>力なき優しさは非力ですが、優しさや慈しみの心が無ければ、力の暴走を招きます。禅の実践をともなう修養により、自己を制御することができるよう目指します。専門的な学問や研究も人間としての成長も自己の制御なくして果たすことができません。しかも自己の制御はその人自身の人間関係を円満にするにとどまらず、その属する世界全体を救う可能性を持つものです。</p> <p>ここに本学が特に禅の教えを建学の精神とする、きわめて本質的かつ重層的な観点があります。</p> <p>そのためにも、本学では、以下の素養と能力を身につけ、卒業・修了要件を満たした者に対して学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ものごとを多面的に捉え、深い洞察により世界と自分の関係を正しく認識することができる。(DP1) 2. 慈しみの心を起こし、他者に寄り添い思いやることことができる。(DP2) 3. 主体性を持って、諦めずに挑戦を続けることができる。(DP3) 4. 専門的な知識・技能を高め、実践に生かすことができる。(DP4) 	<p>文学部では、他者に対する思いやりの心を涵養し、幅広い視野と柔軟な思考力及び体系的な専門知識を修得して、これからの社会に貢献しようとする学修者が、所定年限在籍・所定単位数修得の要件を満たした場合において、学士（文学）を授与します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>文学部 DP</th> <th>内容</th> <th>全学 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DP1</td> <td>共通教育の多面的履修と人文科学の広汎な学修により、広い世界認識に到達することができる。</td> <td>DP1</td> </tr> <tr> <td>DP2</td> <td>深い自己認識を備え、他者への豊かな共感を持つことができる。</td> <td>DP2</td> </tr> <tr> <td>DP3</td> <td>自立した社会人となり、学問の意義と重要性を理解して積極的に生涯学び続けることができる。</td> <td>DP3</td> </tr> <tr> <td>DP4</td> <td>専門分野の知識・技能を体系的に修得し、社会の多様な問題解決に寄与できる。</td> <td>DP4</td> </tr> </tbody> </table>	文学部 DP	内容	全学 DP	DP1	共通教育の多面的履修と人文科学の広汎な学修により、広い世界認識に到達することができる。	DP1	DP2	深い自己認識を備え、他者への豊かな共感を持つことができる。	DP2	DP3	自立した社会人となり、学問の意義と重要性を理解して積極的に生涯学び続けることができる。	DP3	DP4	専門分野の知識・技能を体系的に修得し、社会の多様な問題解決に寄与できる。	DP4	<p>歯学部では、禅の精神を基に医療人として重要な円満な人格を持ち、歯科医学・歯科医療についての高度な知識・技術の習得、並びにその実践力を身につけ、国内外において歯科医療を通じて社会に貢献できる人材の育成を目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修して卒業時に次に掲げる能力を習得し、更に本学科の所定の卒業要件を満たした場合に卒業を認定し、学士（歯学）の学位を授与します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歯学部 DP</th> <th>内容</th> <th>全学 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DP1</td> <td>医療人として広い教養と視野を持ち、深い洞察力と倫理感を備えている。</td> <td>DP1</td> </tr> <tr> <td>DP2</td> <td>感謝と慈愛の心を持って患者中心の医療を実施できる。</td> <td>DP2</td> </tr> <tr> <td>DP3</td> <td>主体的な研究能力を有し、科学的知見に基づき問題点を発見し、解決できる。</td> <td>DP3</td> </tr> <tr> <td>DP4</td> <td>科学的探究心を持ち、最新の医療知識・技術の習得に努め、実践に生かすことができる。</td> <td>DP4</td> </tr> </tbody> </table>	歯学部 DP	内容	全学 DP	DP1	医療人として広い教養と視野を持ち、深い洞察力と倫理感を備えている。	DP1	DP2	感謝と慈愛の心を持って患者中心の医療を実施できる。	DP2	DP3	主体的な研究能力を有し、科学的知見に基づき問題点を発見し、解決できる。	DP3	DP4	科学的探究心を持ち、最新の医療知識・技術の習得に努め、実践に生かすことができる。	DP4
文学部 DP	内容	全学 DP																															
DP1	共通教育の多面的履修と人文科学の広汎な学修により、広い世界認識に到達することができる。	DP1																															
DP2	深い自己認識を備え、他者への豊かな共感を持つことができる。	DP2																															
DP3	自立した社会人となり、学問の意義と重要性を理解して積極的に生涯学び続けることができる。	DP3																															
DP4	専門分野の知識・技能を体系的に修得し、社会の多様な問題解決に寄与できる。	DP4																															
歯学部 DP	内容	全学 DP																															
DP1	医療人として広い教養と視野を持ち、深い洞察力と倫理感を備えている。	DP1																															
DP2	感謝と慈愛の心を持って患者中心の医療を実施できる。	DP2																															
DP3	主体的な研究能力を有し、科学的知見に基づき問題点を発見し、解決できる。	DP3																															
DP4	科学的探究心を持ち、最新の医療知識・技術の習得に努め、実践に生かすことができる。	DP4																															
カリキュラム・ポリシー	<p>【目指すべき人材像を達成するために、どのような教育課程を編成し、実施するのか。】</p> <p>本学では、ディプロマ・ポリシーに定める素養と能力を身につけた人材を育成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の教育課程は、自己を知り感謝と慈愛の心を育み、自らの使命を明確にするための「教養教育」と、専門的な知識・技能に基づく高度な実践力の修得を目指す「専門教育」を体系的に配置します。 2. このうち「教養教育」は、以下の3つの観点から構成されま 	<p>文学部では、自己を正しく認識し慈愛の心を育み、広い教養と深い専門知識を備え、社会の発展に貢献できる人材を育成するために、以下の教育課程を編成し、実施しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目的と内容、主な科目名等</th> <th>文学部 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 基礎的教養教育</td> <td>自己開発と現代社会の多様なニーズに応えることのできる教養・知恵及び技能を養成するために、A基礎科目、B外国語科目、C文化・芸術系科目、D人間・社会系科目、E生活・</td> <td>DP1</td> </tr> </tbody> </table>		目的と内容、主な科目名等	文学部 DP	(1) 基礎的教養教育	自己開発と現代社会の多様なニーズに応えることのできる教養・知恵及び技能を養成するために、A基礎科目、B外国語科目、C文化・芸術系科目、D人間・社会系科目、E生活・	DP1	<p>歯学部では、円満な人格、更に歯科医学に関する専門的知識と歯科医療の高度な実践力を併せ持ち、社会に貢献する人材を育成するという理念に基づき、教育目標を実現し、自らのキャリアを確立するため以下の教育課程を編成し、実施しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目的と内容、主な科目名等</th> <th>歯学部 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 基礎的教養教育</td> <td>高校と大学教育の連携に配慮した初年時教育のカリキュラムとして充実した自然科学系科目を学び、更に広い視野と洞察力を身</td> <td>DP1</td> </tr> </tbody> </table>		目的と内容、主な科目名等	歯学部 DP	(1) 基礎的教養教育	高校と大学教育の連携に配慮した初年時教育のカリキュラムとして充実した自然科学系科目を学び、更に広い視野と洞察力を身	DP1																		
	目的と内容、主な科目名等	文学部 DP																															
(1) 基礎的教養教育	自己開発と現代社会の多様なニーズに応えることのできる教養・知恵及び技能を養成するために、A基礎科目、B外国語科目、C文化・芸術系科目、D人間・社会系科目、E生活・	DP1																															
	目的と内容、主な科目名等	歯学部 DP																															
(1) 基礎的教養教育	高校と大学教育の連携に配慮した初年時教育のカリキュラムとして充実した自然科学系科目を学び、更に広い視野と洞察力を身	DP1																															

<p>す。</p> <p>(1) 生涯にわたって自らを支える基盤となる、幅広い教養の修得を目指した「基礎的教養教育」。</p> <p>(2) 己を知り慈愛の心を育む円満な人格形成を目指した「禅的情操教育」。</p> <p>(3) 自らの特性を生かし社会に奉仕するための使命を明確にすることを旨とした「キャリア教育」。</p> <p>3. それぞれの学部・学科の特性や修業年限に応じて、「教養教育」と「専門教育」を最適に配分します。なお、「教養教育」は初年次教育を中心にディプロマ・ポリシー達成の基盤となり、その学修成果が発揮されることで、「専門教育」の効果は最大限に生かされると言えます。</p>	<p>環境系科目、Fキャリア形成科目を開講する。</p>			<p>につけるために、外国語教育を含む人文科学系科目の教養科目を充実させています。</p>						
	<p>(2) 禅的情操教育</p>	<p>深い自己認識を備え、他者への豊かな慈愛の心を育み、学修内容を実践的に生かすために宗教学を開講し、各種の宗教行事を催す。</p>	<p>DP2</p>	<p>(2) 禅的情操教育</p>	<p>自己を正しく認識し、患者さんに寄り添う心を持つ人間性を育むため、医療人間科学、宗教学を中心とした科目を学びます。医療人間科学では少人数による演習、PBLにより能動的学習能力の向上も図ります。(前半はDP2、後半はDP3)</p>	<p>DP2、DP3</p>				
	<p>(3) キャリア教育</p>	<p>自立した社会人に求められるコミュニケーション能力や自己表現などのスキル向上のための科目を開講する。</p>	<p>DP1、DP3</p>	<p>(3) キャリア教育</p>	<p>将来の進路について考え、歯科医療へのモチベーションを向上させるため、初年時から早期体験学習で学びます。また応用力・課題探求力の向上を図るため、希望者においては低学年時より各講座等における研究に参画し、主体的な研究能力を育みます。</p>	<p>DP3</p>				
	<p>(4) 専門教育</p>	<p>基礎から高度に実践的・学問的な専門知識までを体系的に修得できるよう、科目を編成し開講する。</p>	<p>DP4</p>	<p>(4) 専門教育</p>	<p>基礎科目、臨床科目ともに、座学に加え、少人数グループによる実習を行い、知識と技能を能動的に身につけるカリキュラムの編成を行っています。更に診療参加型臨床実習、隣接医学の学びにより口腔を総合的に診療できる高い臨床能力を育成しています。</p>	<p>DP3、DP4</p>				
	<p>【独自教育】</p> <p>1) 全学部学生に対し、多彩な資格(教職・司書・学芸員)取得のための教育課程が開かれている。(DP4)</p> <p>2) 高度な専門分野の知識・技能の修得を目的として、少人数教育の科目を多数開講する。(DP4)</p> <p>3) 他学科開講科目の履修も一定の範囲内で可能であり、多彩な履修によって幅広い世界認識や他者への豊かな共感力を育てる。(DP1・DP2)</p> <p>4) 曹洞宗宗侶養成課程を開設している。</p> <p>5) その他、各学科で独自の教育を実施している。以下は、その一例である。</p> <p>伝統文化理解に必須の古文・漢文に関する能力を基礎から養成する。(日本文学科)</p> <p>異文化コミュニケーション、英文多読の組織的・先端的教育を実施する。(英語英米文学科)</p> <p>実践的知識・技能の修得のために、各種実習を多彩に開講する。(文化財学科)</p> <p>図書館の古典籍を活用して即時の書誌学教育を行う。(ドキュメンテーション学科)</p>			<p>(5) 独自教育</p>	<p>国際交流を通じた学習により、国外における歯科医療を学び、国際的な視野を育みます。</p>					
<p>アドミッション・ポリシー</p>	<p>【どのような学生に入学してもらいたいのか。】</p> <p>目標に向かって今の努力を惜しまない、以下のような人を歓迎します。</p> <p>1. 生まれてきたことに感謝し、自己を探究する意欲がある人。(DP1、DP2)</p>	<p>文学部では、自己と世界に関わる諸問題を真摯に学び、各専門分野に積極的関心を持ち、新たな知的価値の創造と未来社会への貢献にむけて努力する人を歓迎します。</p> <p>AP 1 世界や他者に対する幅広い関心と豊かな共感を備えている人。(DP1・DP2)</p>	<p>歯学部では、本学の理念に共感し、教育課程に積極的に取り組む姿勢を持つ人を歓迎します。</p>	<table border="1"> <tr> <td>歯学部</td> <td>内容</td> <td>歯学部</td> </tr> <tr> <td>AP</td> <td></td> <td>DP</td> </tr> </table>	歯学部	内容	歯学部	AP		DP
歯学部	内容	歯学部								
AP		DP								

2. 広い視野を持ち、異なる文化・社会にも関心がある人。 (DP1) 3. 自ら積極的に学び、成長する意欲がある人。(DP3) 4. 各学部・学科の専門分野への強い関心がある人。(DP4) 5. 入学後の学修に必要な基礎学力がある人。	AP 2 自己を深く認識することに関心があり、常に学びの努力を惜しまない人。(DP 2) AP 3 社会に貢献する意志を持ち、現実の多様な問題に対して主体的に取り組む人。(DP 3) AP 4 総合的基礎学力と専門分野の知識を有し、積極的学修をとおして高度な知識・技能を身につける意欲がある人。(DP 4)	AP1	物事を多角的にとらえ、柔軟に判断できる能力を持つ人。	DP1
		AP2	他者と自己を理解し、他者に寄り添う姿勢を身につける努力を惜しまない人。	DP2
		AP3	自然科学に強い関心があり、基礎的な知識を有する人。	DP 4
		AP4	自己の能力向上を目指してアクティブに学ぶ意欲をもつ人。	DP 3

鶴見大学短期大学部

学科	全学ポリシー	保育科	歯科衛生科																																				
ディプロマ・ポリシー	<p>【本学はどのような人材を育成し、学位を授与するのか。】</p> <p>本学は、仏教、特に禅の精神に基づく円満な人格と、専門的な知識・技能に基づく高度な実践力、即ち優しさと力を併せ持つ人材を育成します。</p> <p>それは、世界の中の自己を正しく認識し、感謝と慈愛の心を持って、社会の発展と福祉の増進に貢献する人です。</p> <p>力なき優しさは非力ですが、優しさや慈しみの心が無ければ、力の暴走を招きます。禅の実践をともなう修養により、自己を制御することができるよう目指します。専門的な学問や研究も人間としての成長も自己の制御なくして果たすことができません。しかも自己の制御はその人自身の人間関係を円満にするにとどまらず、その属する世界全体を救う可能性を持つものです。</p> <p>ここに本学が特に禅の教えを建学の精神とする、きわめて本質的かつ重層的な観点があります。</p> <p>そのためにも、本学では、以下の素養と能力を身につけ、卒業・修了要件を満たした者に対して学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ものごとを多面的に捉え、深い洞察により世界と自分の関係を正しく認識することができる。(DP1) 2. 慈しみの心を起こし、他者に寄り添い思いやることことができる。(DP2) 3. 主体性を持って、諦めずに挑戦を続けることことができる。(DP3) 4. 専門的な知識・技能を高め、実践に生かすことことができる。(DP4) 	<p>保育科では禅仏教の教えに基づき、宗教的情操に裏打ちされた円満な人格の形成と、豊かな識見をもった向上心あふれる保育者を養成することを目的としています。</p> <p>この目的のため、下記の能力を身につけて所定の単位を修得した場合に短期大学士を授与します。あわせて、幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を取得することができます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保育科 DP</th> <th>内容</th> <th>全学 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DP1</td> <td>教育、保育、福祉、医療の各分野に通底した生命尊重の思想や倫理観を基盤にして、深い自己洞察を行い、世界における自己の役割を位置づけることができる。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>DP2</td> <td>禅仏教の教えに基づき、保育者として深い教養と広い視野を身につけ、子どもと親に寄り添いつつ子どもの発達を援助できる。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>DP3</td> <td>保育者として子どもの健全な発育、発達と福祉を保障していこうとする自覚と実践力をもつことことができる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>DP4</td> <td>多様化した現代社会において、保育者としての使命と責任を自覚し、保育に対して主体的、かつ真摯に取り組む意欲をもっている。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>DP5</td> <td>感謝と思いやりの心をもって地域社会や家庭とかかわり、専門的な知識・技能を備えた保育者として活動する姿勢を身につける。</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	保育科 DP	内容	全学 DP	DP1	教育、保育、福祉、医療の各分野に通底した生命尊重の思想や倫理観を基盤にして、深い自己洞察を行い、世界における自己の役割を位置づけることができる。	1	DP2	禅仏教の教えに基づき、保育者として深い教養と広い視野を身につけ、子どもと親に寄り添いつつ子どもの発達を援助できる。	2	DP3	保育者として子どもの健全な発育、発達と福祉を保障していこうとする自覚と実践力をもつことことができる。	3	DP4	多様化した現代社会において、保育者としての使命と責任を自覚し、保育に対して主体的、かつ真摯に取り組む意欲をもっている。	3	DP5	感謝と思いやりの心をもって地域社会や家庭とかかわり、専門的な知識・技能を備えた保育者として活動する姿勢を身につける。	4	<p>歯科衛生科では禅の教えに基づく人格の形成という建学の精神をもとにして、人々の健康と福祉に貢献する有能な歯科衛生士を育成することを目的としています。このような目的に沿って構築されたカリキュラムを履修し、卒業時まで以下に以下の能力を身につけ、所定の単位を修得し、卒業要件を満たした場合において、短期大学士（歯科衛生学）の学位を授与します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歯科衛生科 DP</th> <th>内容</th> <th>全学 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>DP1</td> <td>歯科衛生士として必要な、科学的根拠に基づいた論理的思考力を持ち、自己を正しく認識し、社会に貢献できる。</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>DP2</td> <td>禅の精神に基づき、医療人として慈愛の心を持ち、他者に共感できる。</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>DP3</td> <td>歯科衛生士として求められる口腔保健に必要な知識と技術を持ち、思考力と共感力をもとに新しい課題の解決を主体的にできる。</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>DP4</td> <td>歯科衛生士として必要な専門知識・技術を身につけ、医療現場で起こりうる事象や課題に適切な判断及び行動ができる。</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>DP5</td> <td>歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力を持ち、他の医療に関わる専門家との協働・連携をはかることができる。</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	歯科衛生科 DP	内容	全学 DP	DP1	歯科衛生士として必要な、科学的根拠に基づいた論理的思考力を持ち、自己を正しく認識し、社会に貢献できる。	1	DP2	禅の精神に基づき、医療人として慈愛の心を持ち、他者に共感できる。	2	DP3	歯科衛生士として求められる口腔保健に必要な知識と技術を持ち、思考力と共感力をもとに新しい課題の解決を主体的にできる。	3	DP4	歯科衛生士として必要な専門知識・技術を身につけ、医療現場で起こりうる事象や課題に適切な判断及び行動ができる。	4	DP5	歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力を持ち、他の医療に関わる専門家との協働・連携をはかることができる。	4
保育科 DP	内容	全学 DP																																					
DP1	教育、保育、福祉、医療の各分野に通底した生命尊重の思想や倫理観を基盤にして、深い自己洞察を行い、世界における自己の役割を位置づけることができる。	1																																					
DP2	禅仏教の教えに基づき、保育者として深い教養と広い視野を身につけ、子どもと親に寄り添いつつ子どもの発達を援助できる。	2																																					
DP3	保育者として子どもの健全な発育、発達と福祉を保障していこうとする自覚と実践力をもつことことができる。	3																																					
DP4	多様化した現代社会において、保育者としての使命と責任を自覚し、保育に対して主体的、かつ真摯に取り組む意欲をもっている。	3																																					
DP5	感謝と思いやりの心をもって地域社会や家庭とかかわり、専門的な知識・技能を備えた保育者として活動する姿勢を身につける。	4																																					
歯科衛生科 DP	内容	全学 DP																																					
DP1	歯科衛生士として必要な、科学的根拠に基づいた論理的思考力を持ち、自己を正しく認識し、社会に貢献できる。	1																																					
DP2	禅の精神に基づき、医療人として慈愛の心を持ち、他者に共感できる。	2																																					
DP3	歯科衛生士として求められる口腔保健に必要な知識と技術を持ち、思考力と共感力をもとに新しい課題の解決を主体的にできる。	3																																					
DP4	歯科衛生士として必要な専門知識・技術を身につけ、医療現場で起こりうる事象や課題に適切な判断及び行動ができる。	4																																					
DP5	歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力を持ち、他の医療に関わる専門家との協働・連携をはかることができる。	4																																					
カリキュラム・ポリシー	<p>【目指すべき人材像を達成するために、どのような教育課程を編成し、実施するのか。】</p> <p>本学では、ディプロマ・ポリシーに定める素養と能力を身につけた人材を育成するために、以下の方針に基づき、教育課程を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の教育課程は、自己を知り感謝と慈愛の心を育み、自らの使命を明確にするための「教養教育」と、専門的な知識・技能に基づく高度な実践力の修得を目指す「専門教育」を体系的に配置します。 2. このうち「教養教育」は、以下の3つの観点から構成されま 	<p>保育科では、人の一生を見据えながら就学前教育・保育を考える広い視野にたてる保育者、かつまた子どもの健全な発育、発達と福祉を保障していこうとする有能な保育者を養成するためにカリキュラムを編成しています。</p> <p>各科目は、文部科学省・厚生労働省による指定科目のほか、本学独自の科目があります。これらは教育、保育、福祉、医療の各分野に通底した生命の尊重の思想や、高い倫理観をもち芸術性豊かな優れた実践者として一人一人の学生が育つことを念頭に、以下のカリキュラムを編成し、実施しています。成績評価に対して成績評価値（Grade Point Average,GPA）を設定し、GPAが</p>	<p>禅の教えに基づく人格の形成という建学の精神をもとにして、有能な歯科衛生士として必要な専門知識・技術・態度を修得し、高度な実践力を備え、人々の健康と福祉に貢献できる人材を育成するために、以下の教育課程を編成し、実施しています。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>目的と内容、主な科目名等</th> <th>歯科衛生科 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 基礎的教養教育</td> <td>科学的根拠に基づいた論理的思考を構築し、自己を正しく認識し、社会に貢献できるよう基礎的思考</td> <td>DP1</td> </tr> </tbody> </table>		目的と内容、主な科目名等	歯科衛生科 DP	(1) 基礎的教養教育	科学的根拠に基づいた論理的思考を構築し、自己を正しく認識し、社会に貢献できるよう基礎的思考	DP1																														
	目的と内容、主な科目名等	歯科衛生科 DP																																					
(1) 基礎的教養教育	科学的根拠に基づいた論理的思考を構築し、自己を正しく認識し、社会に貢献できるよう基礎的思考	DP1																																					

<p>す。</p> <p>(1) 生涯にわたって自らを支える基盤となる、幅広い教養の修得を目指した「基礎的教養教育」。</p> <p>(2) 己を知り慈愛の心を育む円満な人格形成を目指した「禅的情操教育」。</p> <p>(3) 自らの特性を生かし社会に奉仕するための使命を明確にすることを旨とした「キャリア教育」。</p> <p>3. それぞれの学部・学科の特性や修業年限に応じて、「教養教育」と「専門教育」を最適に配分します。なお、「教養教育」は初年次教育を中心にディプロマ・ポリシー達成の基盤となり、その学修成果が発揮されることで、「専門教育」の効果は最大限に生かされると言えます。</p>	1.0 以下の学生に対しては指導が行われます。			と深い教養を習得することを目的に、「生物学」「化学」「英語」「心理学」「医療倫理学」等を設置する。		
		目的と内容、主な科目名等	保育科 DP	(2) 禅的情操教育	医療人としての慈愛の心を育み、他者に共感できる力を養うことを目的に、「宗教学」「ボランティア論」等を設置する。	DP 2
	(1) 基礎的教養教育	人間の在り方を基礎から学ぶために「哲学」、「文学」、「心理学」等を設置する。これらによって、人生を幅広く、かつ深く思考する態度を養成する。	DP1	(3) キャリア教育	口腔保健に必要な知識と技術を養い、課題の解決を主体的にできる力を養うことを目的に、「保健行動学」「精神衛生学」「人生と職業」等を設置する。	DP 3 DP 4
	(2) 禅的情操教育	さまざまな仏教行事をとおして禅的情操教育を行う。また、「宗教学」を学ぶことで、異なる文化、価値観の中で生活している人々に対する理解を深める。更に、禅の精神に基づいた慈愛の心を育み、互いを認め合う共生社会を実現させることの重要性を理解する教育を行う。	DP2	(4) 専門教育	歯科衛生士に必要な専門的知識・技術を取得することを目的に、専門基礎分野として、「解剖学」「口腔解剖学」「病理学」「口腔衛生学」等を設置する。 専門分野として、臨床歯科医学を理解し、歯科衛生士の業務を修得するための科目「歯科保存学Ⅰ・Ⅱ」「歯科補綴学」「口腔外科学」「歯科予防処置論」「歯科保健指導論」「歯科診療補助論」等を設置する。 歯科医療現場で、実践する力を修得するための科目「歯科臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「臨地実習」を設置する。	DP 4
	(3) キャリア教育	社会における保育者の役割と倫理を理解し、専門性を備えた保育者を養成するために保育者論を設置する。	DP3 DP4 DP5	(5) 独自教育	他の医療に関わる専門家と協働・連携をはかることができる力を養うための科目「コミュニケーション論」「臨床医学概論」「看護学」「介護職員初任者研修事業」等を設置する。	DP 5
	(4) 専門教育	幼稚園教諭二種免許状取得に必要な「教科に関する科目」と「教職に関する科目」を設置する。また保育士資格取得に必要な「保育の本質・目的に関する科目」、「保育の対象の理解に関する科目」、「保育の内容・方法に関する科目」、「保育の表現技術」等を設置する。更に教育実習、保育実習を設置する。	DP3 DP4			
(5) 独自教育	本学独自の科目として、「いのちを大切にすること子どもたちの心に育む仏教保育を設置する。それにより、仏教保育の理念を柱とし、保育の専門家として日々精進する（大覚円成）ことで世の中に貢献できる具体的な行動を起こす（報恩行持）ことので	DP2				

			きる保育者を養成するための教育を行う。		
--	--	--	---------------------	--	--

学科	全学ポリシー	保育科	歯科衛生科																																	
アドミッション・ポリシー	<p>【どのような学生に入学してもらいたいのか。】</p> <p>目標に向かって今の努力を惜しまない、以下のような人を歓迎します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生まれてきたことに感謝し、自己を探求する意欲がある人。(DP1、DP2) 2. 広い視野を持ち、異なる文化・社会にも関心がある人。(DP1) 3. 自ら積極的に学び、成長する意欲がある人。(DP3) 4. 各学部・学科の専門分野への強い関心がある人。(DP4) 5. 入学後の学修に必要な基礎学力がある人。 	<p>本学では禅仏教に基づいた教育を行っています。保育者（幼稚園教諭、保育士）は保育をとおして子どもの人格形成に関わる重要な役割を担っています。また、今日では保育の専門性を広く社会で生かすことが求められています。そのために保育者には幅広い教養と専門性が求められています。したがって、保育科では以下のような人を歓迎します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>保育科 AP</th> <th>内容</th> <th>保育科 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AP1</td> <td>禅仏教の教えに基づき、子どもの人格を尊重し、育てることに意欲を持っている人。</td> <td>DP1、DP2、DP3</td> </tr> <tr> <td>AP2</td> <td>保育者としての幅広い教養と専門性を身につける努力をする人。</td> <td>DP2、DP3、DP4</td> </tr> <tr> <td>AP3</td> <td>読解力・表現力等の国語力を含めて人間関係におけるコミュニケーション能力を身につける努力をする人。</td> <td>DP2、DP4、DP5</td> </tr> <tr> <td>AP4</td> <td>保育は社会において育つ子どもに関わる仕事です。この意味で、日頃から社会における出来事に関心を抱き、かつ保育現場におけるボランティアに積極的に参加した社会的経験のある人。</td> <td>DP4、DP5</td> </tr> </tbody> </table>	保育科 AP	内容	保育科 DP	AP1	禅仏教の教えに基づき、子どもの人格を尊重し、育てることに意欲を持っている人。	DP1、DP2、DP3	AP2	保育者としての幅広い教養と専門性を身につける努力をする人。	DP2、DP3、DP4	AP3	読解力・表現力等の国語力を含めて人間関係におけるコミュニケーション能力を身につける努力をする人。	DP2、DP4、DP5	AP4	保育は社会において育つ子どもに関わる仕事です。この意味で、日頃から社会における出来事に関心を抱き、かつ保育現場におけるボランティアに積極的に参加した社会的経験のある人。	DP4、DP5	<p>禅の教えを建学の精神とし、感謝と慈愛の心を持って、人々の健康と福祉に貢献できる人材を育成します。そこで、以下のような人を歓迎します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>歯科衛生科 AP</th> <th>内容</th> <th>歯科衛生科 DP</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AP1</td> <td>科学的思考に基づいた倫理的思考力を持ち、社会に貢献できる人。</td> <td>DP1</td> </tr> <tr> <td>AP2</td> <td>慈愛の心を持ち、他者の気持ちを考え共感できる人。</td> <td>DP2</td> </tr> <tr> <td>AP3</td> <td>口腔保健の知識と技術の習得に向上心と向学心がある人。</td> <td>DP3</td> </tr> <tr> <td>AP4</td> <td>歯科衛生士として必要な知識・技術を身につけるための基礎的学力のある人。</td> <td>DP4</td> </tr> <tr> <td>AP5</td> <td>コミュニケーション能力があり、他者と協働できる人。</td> <td>DP5</td> </tr> </tbody> </table>	歯科衛生科 AP	内容	歯科衛生科 DP	AP1	科学的思考に基づいた倫理的思考力を持ち、社会に貢献できる人。	DP1	AP2	慈愛の心を持ち、他者の気持ちを考え共感できる人。	DP2	AP3	口腔保健の知識と技術の習得に向上心と向学心がある人。	DP3	AP4	歯科衛生士として必要な知識・技術を身につけるための基礎的学力のある人。	DP4	AP5	コミュニケーション能力があり、他者と協働できる人。	DP5
保育科 AP	内容	保育科 DP																																		
AP1	禅仏教の教えに基づき、子どもの人格を尊重し、育てることに意欲を持っている人。	DP1、DP2、DP3																																		
AP2	保育者としての幅広い教養と専門性を身につける努力をする人。	DP2、DP3、DP4																																		
AP3	読解力・表現力等の国語力を含めて人間関係におけるコミュニケーション能力を身につける努力をする人。	DP2、DP4、DP5																																		
AP4	保育は社会において育つ子どもに関わる仕事です。この意味で、日頃から社会における出来事に関心を抱き、かつ保育現場におけるボランティアに積極的に参加した社会的経験のある人。	DP4、DP5																																		
歯科衛生科 AP	内容	歯科衛生科 DP																																		
AP1	科学的思考に基づいた倫理的思考力を持ち、社会に貢献できる人。	DP1																																		
AP2	慈愛の心を持ち、他者の気持ちを考え共感できる人。	DP2																																		
AP3	口腔保健の知識と技術の習得に向上心と向学心がある人。	DP3																																		
AP4	歯科衛生士として必要な知識・技術を身につけるための基礎的学力のある人。	DP4																																		
AP5	コミュニケーション能力があり、他者と協働できる人。	DP5																																		